



第2期データヘルス計画の実施状況について

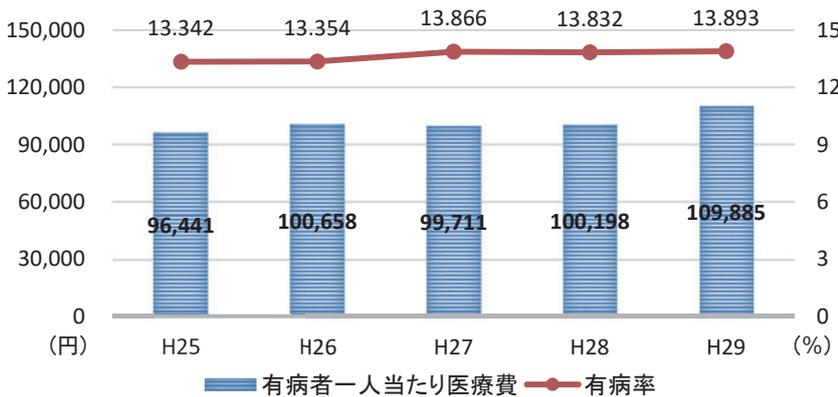
健康管理係
(082)513-4956

第2期データヘルス計画は平成30年度～令和5年度（6年間）が計画期間となっていますが、広島支部の疾病構造を把握するため、平成23年度から平成27年度までの医療費及び特定健診結果を分析し、計画を策定しました。

計画期間2年目を迎え、最新のデータ（平成29年度分まで）の状況を確認しました。

※ 組合員・任意継続組合員・被扶養者のデータを使用

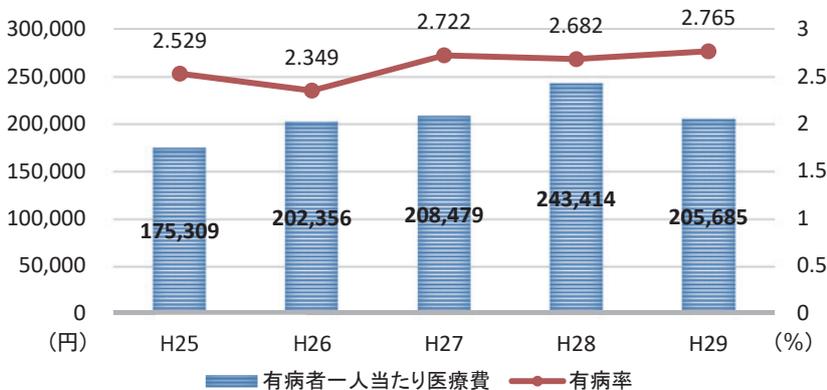
広島支部の生活習慣病における有病者一人当たりの医療費及び有病率



生活習慣病は一般的に健康リスクのない状態から急に発症するものではなく、生活習慣の積み重ねにより発症します。

当支部では生活習慣病予防健診（人間ドック）の実施や健康情報の提供をしています。

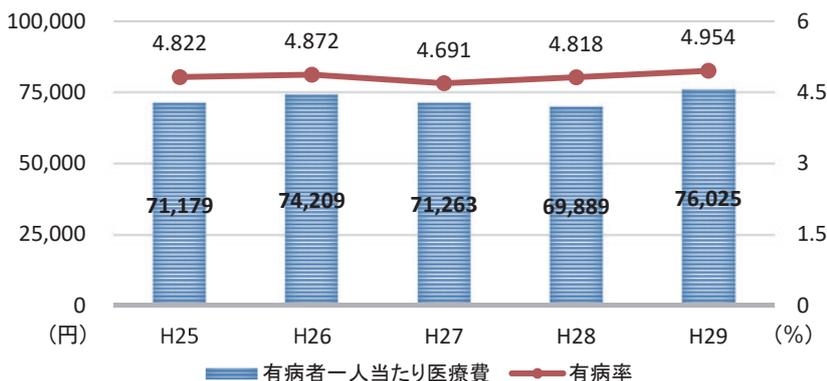
広島支部の悪性新生物における有病者一人当たりの医療費及び有病率



悪性新生物（がん）は、検診で早期に発見し、適正な治療を行うことで治ることも可能な病気です。

当支部ではがんの早期発見・早期治療のために生活習慣病予防健診（人間ドック）や器官別検診を実施しています。

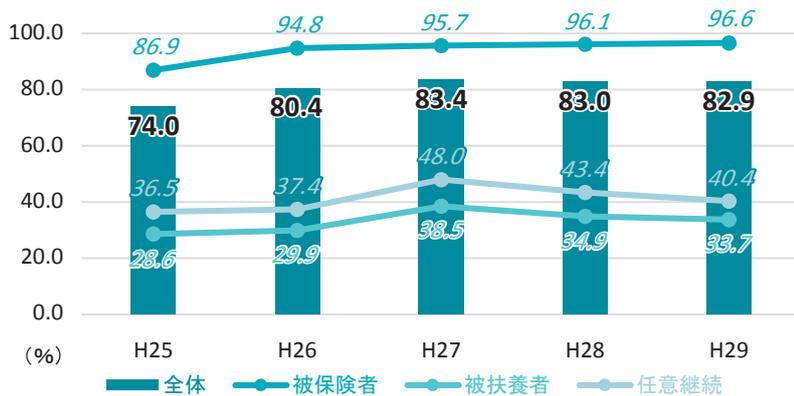
広島支部の精神の疾病における有病者一人当たりの医療費及び有病率



精神の疾病は、さまざまな要因が絡まって引き起こされるといわれているため、メンタルヘルス不調を未然に防ぐための取り組みが重要となっています。

当支部ではセルフケアを推進するための知識の普及や専門的な相談窓口を設置しています。

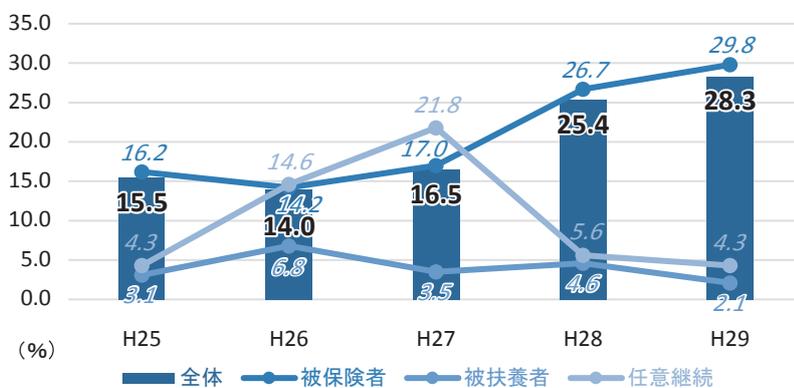
特定健康診査受診率の推移



特定健康診査はメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣病の予防を目的とした健診です。

被扶養者、任意継続の方の受診が減少しています。40歳以上の方は無料で受けられますので、ぜひ受診してください。

特定保健指導実施率の推移



特定保健指導は生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果を強く期待できる方に対して、医師・保健師・管理栄養士等の専門家が生活習慣を見直すサポートを行います。

少しずつですが、全体の実施率は伸びています。対象になった方はぜひご利用ください。



健康情報提供冊子「QUPiO+」を配付します

健康管理係
(082)513-4956

生活習慣病対策の一環として、特定健康診査結果^(注1)に基づく個別性の高い健康情報提供冊子「QUPiO + (クピオプラス)」^(注2)を10月以降、所属所あてに順次お送りします。

対象者

令和元年度に達する年齢が40歳以上の組合員本人及び被扶養者で、令和元年度中に特定健康診査を受診した者

※ ただし、特定健康診査項目の結果データが全て揃っていない者、結果データの提供が遅い者は配付対象から除きます。

「QUPiO + (クピオプラス)」は生活習慣改善のヒントが詰まったあなた専用の健康冊子です。今後の健康づくりにぜひお役立てください。



^(注1) 特定健康診査は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳から74歳までの組合員及び被扶養者を対象に実施しています。

^(注2) 平成30年度までの健康情報提供冊子「ippo-ippo (イッポイッポ)」がリニューアルされました。